

令和 2 年度

# 事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日から

令和 3 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 山 田 育 英 会

## 令和2年度 事業報告

### 【公1】公益目的事業

大学及び大学院に修学する国内外の学生であって、志操堅実、学力優秀、かつ、身体強健でありながら経済的理由により、学業の継続が困難な者に対し、育英奨学の事業を行い、もって社会に有用の人材を育成するため、以下のとおり「奨学金の支給事業」及び「教育研修及び人材交流に関する事業」を行った。

#### 1. 奨学金の支給事業

##### (1) 奨学生数と給与金額

###### ①奨学金の内容

- ・奨学金の種類：給与奨学金（返還義務なし）
- ・支給期間：奨学生の在学する正規の最短修業期間
- ・支給金額：大学学部学生 1ヵ月2万円  
大学大学院修士課程学生 1ヵ月2万5000円

※コロナ禍による社会情勢を鑑み、理事会にて、令和2年10月分から令和3年3月分までの奨学金月額を1万円増額することを決議いたしました。

###### ②奨学生数と支給した奨学金

大学学部学生	192名（継続150名、新規42名）
大学大学院修士課程学生	58名（継続26名、新規32名）
計	250名

奨学金支給額 71,340,000円

※大学学部学生継続奨学生のうち14名及び大学大学院修士課程学生継続奨学生のうち2名は提出義務のある書類を提出期限までに提出いただけなかったため奨学金を停止し、大学学部学生継続奨学生のうち2名は休学により奨学金を停止し、大学学部学生継続奨学生のうち1名は留年のため奨学金を停止したため、奨学金支給対象奨学生は231名となる。

※大学学部学生継続奨学生のうち3名は提出義務のある書類を提出期限までに提出いただけなかったため提出いただくまで支給を停止したため、2名は10月分から半年分の支給、1名は1月分から3ヶ月分の支給となった。

※大学学部学生継続奨学生のうち1名は前年度後期より休学し、4月に復学したため、今年度は前年度の残りを4月から半年の支給となった。

※大学大学院修士課程学生継続奨学生のうち2名は後期より復学したため、10月分から半年分の支給となった。

※大学学部学生継続奨学生のうち1名は後期より休学したため、4月分から半年分の支給とし、大学大学院修士課程学生継続奨学生のうち1名は1月より休学

したため、4月分から9ヶ月分の支給となった。

※大学大学院修士課程学生新規奨学生のうち1名は1月より休学したため、4月分から9ヶ月分の支給となった。

## (2) 新規奨学生の選考

### ①奨学生の募集方法

大学及び大学院1年生を対象とし、「大学推薦による方法」と「公募による方法」により、新規奨学生74名を新規奨学生として採用した。

・大学推薦（28名の応募があり28名を採用した）

推薦依頼校9校に各4名の奨学生候補者の推薦を依頼した。

・公募（120名の応募があり46名を採用した）

募集要項を当会ホームページ、全国で販売されている雑誌（螢雪時代 臨時増刊号）に掲載し、学生からの直接応募を受け付けた。

### ②奨学生の選考方法

「奨学金給与規程」に基づき、7月27日に、奨学生選考委員会による選考を行った。選考は、推薦書・学業成績・課題論文等を選考基準に照らし総合的に審査をし、選定した。

## 2. 当会の奨学生を対象とする教育研修及び人材交流に関する事業

奨学金を受ける学生に対し、研修及び交流の機会を提供することを目的として、次の行事をオンライン配信等にて開催した。なお、研修旅行については、以下の理由により開催しなかった。

### ①研修会・懇親会の開催

※8月29日に奨学生に対し交流の機会を提供し、また、奨学生の学業・生活状況を確認するために、研修会をオンライン配信にて開催した。なお、懇親会はコロナ禍のため中止とした。

### ②就職活動に関する研究会兼懇親会

※12月12日に大阪の会場で、感染対策を万全に講じたうえで奨学生に対し就職活動に関する情報交流の機会を提供する会を、オンライン配信及びオフラインにて開催し、オフラインには21名の奨学生が参加した。

なお、コロナ禍のため懇親会は中止とした。

### ③研修旅行

※数年毎を目処に出捐企業であるダイキン工業株式会社が所有している研修所等において、奨学生間の交流の機会を提供するとともに、毎回異なるテーマを設定し、当該テーマについての研修を予定していたが、令和2年度はコロナ禍のため、研修旅行は行わなかった。

#### ④卒業式

※3月13日に大阪の会場で、感染対策を万全に講じたうえで前年度卒業の奨学生及び令和2年度卒業予定の奨学生に対し、奨学生間の交流を図ることを目的として、卒業式をオンライン配信及びオフラインにて開催し、オフラインには22名の奨学生が参加した。

なお、コロナ禍のため懇親会は中止とした。

#### ⑤事業支出

1, 243, 231円

### 3. 特別奨学生支援資金に基づく特別奨学生支援活動

自然災害や主たる生計維持者の不慮の事故・病気などにより生計が急変した学生の緊急支援

#### (1) 奨学生数と給与金額

##### ①奨学金の内容

- ・奨学金の種類：給与奨学金（返還義務なし）
- ・支給期間：奨学生の在学する正規の最短修業期間
- ・支給金額：大学学部学生 1ヵ月2万円

※コロナ禍による社会情勢を鑑み、理事会にて、令和2年10月分から令和3年3月分までの奨学金月額を1万円増額することを決議いたしました。

##### ②奨学生数と支給した奨学金

大学学部学生 8名（継続8名）

奨学金支給額 1, 590, 000円

※大学学部学生継続奨学生のうち3名は提出義務のある書類を提出期限までに提出いただけなかったため1名は1月分から3ヶ月分の支給となり、2名は奨学金を停止したため、奨学金支給対象奨学生は6名となる。

#### (2) 新規奨学生の選考

令和2年度は新規募集を行わなかった。